

都市再生整備計画

ごうどちようちゆうしんし が い ち
神戸町中心市街地地区

ぎ ふ ぐうどちよう
岐阜県 神戸町

(第2回変更)

令和7年3月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	☐
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	☐
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	☒
まちなかウォークアブル推進事業	☐

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	岐阜県	市町村名	ごうどちやう 神戸町	地区名	ごうどちやうちやうしん、が い ち 神戸町中心市街地地区	面積	69.8	ha
計画期間	令和	6	年度	～	令和	10	年度	
交付期間	令和	6	年度	～	令和	10	年度	

目標
大目標：公共施設の再整備を契機とした賑わい溢れる交流拠点の形成と活気に満ちあふれた魅力ある市街地の実現 目標1：歴史的資源の活用及び住民活動拠点の創出による住民と行政の共生のまちづくりの推進 目標2：大規模災害にも対応できる防災機能を備えた安心安全なまちづくりの推進
目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 神戸町は濃尾平野の最北部に位置し、西に伊吹山系、北に白山山系を望み、東には揖斐川が流れる自然豊かな町で、南北7. 2km、東西4. 1kmの三角形をなした18. 78㎢のコンパクトな平坦地である。また、まちの起源は古く、奈良時代の初めごろに開かれ、戦国時代には日吉神社の門前町として発展してきた。昭和40年代には積極的に企業誘致を推進し、現在は人口18, 500人余りが暮らす自然と工業が調和した町となっている。 本地区は、古くからの町の中心市街地と、昭和40年代の人口急増に対応するため開発された、郵便局や交番所といった官公署や、役場庁舎や保健センターといった行政施設のほか、町中央公民館や町民体育館といった文教施設が集積した地域である。しかしながら、これらの施設には老朽化がみられることに加え、住民が利用できる文教施設は社会教育施設として使途が制限されるなど、地域交流を推進する施設とはなっていない。また、これらの施設は、町地域防災計画に基づき、中央公民館は役場庁舎の損壊時における災害対策本部のサブセンター（代替施設）や支援物資配分活動拠点として、町民体育館は指定避難所として位置付けられており、大規模災害時には町防災体制の中心的役割を担う防災拠点として今まで以上に機能強化を図る必要がある。 本町は古い歴史の有する町であるため、中心市街地には古い街並みなどが残されており、これらの歴史的資源を生かすため、街並み修景事業を実施したものの、これらの施設にも歩道に段差ができるなどの老朽化が散見され安心な歩行者空間を確保できていない状況となっている。 また、駅前の空き家を活用して「観光交流館ひよしの里」の開館を契機に、民間有志で組織する「神戸町賑わいのあるまちづくり協議会」や「観光ボランティアガイドの会」が発足し活動を開始するなど、住民のままちづくりへの参加の機運が高まりをみせているが、道路施設などが老朽化していることもあり、交流人口の増加や賑わいのあるまちづくりに繋がっていない。
課題
・本町には各種住民団体や住民グループが自由に利用できる活動拠点やイベント等を開催するなどの地域交流施設が存在しないため、使用制限のある文教施設を利用せざるを得ない状況となっており、十分な活動ができていない。このため、これらの文教施設を住民交流施設に改修することやイベント広場を整備するなど、交流拠点機能を高め、多様な世代の交流や生きがい活動の活性化に繋げていく必要がある。 ・古い街並みの歩行者空間や公園・広場の再整備を通じて、歴史的・文化的資源と調和したまちづくりを行い、官民協働で中心市街地に賑わいを取り戻す必要がある。 ・現中央公民館、町民体育館などの文教施設は、建築後40年以上が経過し老朽化が進んでいることから大規模な施設改修が必要となってきた。また両施設は町全体の約2割を収容可能としている指定避難所でもあるが、防災備蓄機能を有しておらず、耐震診断でも耐震補強が必要な結果となっているところもあるため、これらの防災対策を実施し、防災拠点として機能強化を図る必要がある。
将来ビジョン（中長期）
①神戸町第5次総合計画・後期基本計画（2021-2024）（令和3年3月策定） ・地域コミュニティの場として、住民主導による活動における運営や活動の充実を図る。 ・町内に多数保存されている文化財を観光資源として活用する。 ②神戸町まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略（2021-2024）（令和5年3月改訂） ・住民協働事業や地域コミュニティ活動の推進により、ひとが集い、誰でも安心して暮らせる持続可能なまちづくりが必要。 ・歴史的、文化的な地域資源の活用により「にぎわい」のまちづくりを進めるとともに、魅力を創出することで交流人口や関係人口の拡大を目指す。 ③神戸町公共施設個別施設計画（令和3年3月策定）

都市再生整備計画事業の計画							
防災拠点整備方針 平成25年の岐阜県による地震の被害想定調査によると、本庁では、南海トラフ巨大地震が発生した場合最大震度6弱、養老一桑名一四日市断層帯地震が発生の場合は最大震度6弱が予想されている。このため、地域防災計画においては大規模な災害により本庁舎が損壊し災害対策活動が実施不可能になることを避けるため災害対策本部機能をもった代替施設として中央公民館の整備を図ることとしている。また、町外から届く多種・大量の支援物資を被災地に効率的に配分するための一時集積配分拠点として中央公民館が位置づけられている。あわせて中央公民館、渡り廊下で一体利用が可能な町民体育館とともに指定避難所に指定しており、災害時には町民の2割弱の人数を収容できるものとして位置づけられている。今回中央公民館においては通常時は多目的利用が可能なように大ホールやその他の会議室を改築することとしており、いざという事態に陥った場合には、防災拠点として利用できるように備蓄倉庫機能も追加して再整備を図るとともに、町民体育館においては耐震対策工事を実施することで指定避難所としての機能強化を図り、町民の安全・安心なまちづくりの推進を進めていくこととしている。							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
（仮）町民ホール利用日数	日／年	（仮）町民交流センター内の町民ホールと改築前の中央公民館大ホールの年間利用日数の比較	地域交流センター化による活用実績の評価	66日／年	R4年度	75日／年	R10年度
計画区域内の散策者数	人／年	観光ボランティアガイドを利用して計画区域内を散策する人数	地域資源の再整備による実績の評価	341人／年	R4年度	500人／年	R10年度
非常食及び資機材の備蓄可能量	日分	養老一桑名一四日市断層帯地震における想定避難者数に対する3日分の非常食及び資機材の備蓄可能量	備蓄倉庫整備による非常食及び資機材の備蓄可能量の評価	1日分	R4年度	3日分	R10年度

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
【歴史的資源の活用及び住民活動拠点の創出による住民と行政の共生のまちづくりの推進】 ・老朽化した文教施設を地域交流施設として再整備することで住民の活動拠点を形成する。 ・イベント広場の整備により、住民交流の促進を図る。 ・地域交流施設で活動する住民のために、多目的利用可能なスペースを確保する。 ・街並みに適した歩行者空間を再整備し、賑わいの創出を図る。 ・日吉公園を再整備し、歴史的資源との調和を図る。		【基幹事業】（既存建造物活用事業 地域交流センター）（仮）町民交流センター整備事業 【基幹事業】（地域生活基盤施設 広場）（仮）イベント広場整備事業 【基幹事業】（道路）町道 神戸45号線 整備事業 【基幹事業】（道路）町道 神戸川西1号線 整備事業 【基幹事業】（公園）日吉公園再整備事業 【基幹事業】（高質空間形成施設）町道 神戸113号線 整備事業 【基幹事業】（高質空間形成施設）町道 更屋敷神戸1号線 整備事業 【提案事業】（事業活用調査） 立地適正化計画策定事業 【提案事業】（事業活用調査） 事業効果分析調査事業
【大規模災害に対応できる防災機能を備えた安全安心なまちづくりの推進】 ・老朽化した（仮）町民アリーナの耐震補強工事を行うことで、指定避難所としての防災機能の強化を図る。 ・（仮）町民交流センターを地域交流施設として再整備する際に合わせて防災備蓄倉庫を整備、また、交流センターの西側隣接地にも防災備蓄倉庫を増設することにより、町民交流センター及び町民アリーナの指定避難所としての防災機能の強化と併せて、防災拠点（物資輸送拠点）の機能強化も図る。		【基幹事業】（地域生活基盤施設 地域防災施設）（仮）町民アリーナ耐震化事業 【基幹事業】（地域生活基盤施設 地域防災施設）（仮）町民交流センター内 防災備蓄倉庫整備事業 【基幹事業】（地域生活基盤施設 地域防災施設）町民交流センター西 防災備蓄倉庫整備事業
その他		
【官民協働のまちづくり】 ・神戸町賑わいのあるまちづくり協議会の設立（平成29年2月） ・観光交流館「ひよしの里」の運営並びに歴史や文化に関するイベントや交流活動を継続的に開催 ・神戸町ボランティアガイドの会の発足（平成29年11月） ・観光客や町民に対し、文化財の散策ガイドやイベント・セミナーを継続的に実施		

様式(1)-④-3

「都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)」を活用の場合、本様式を使用すること

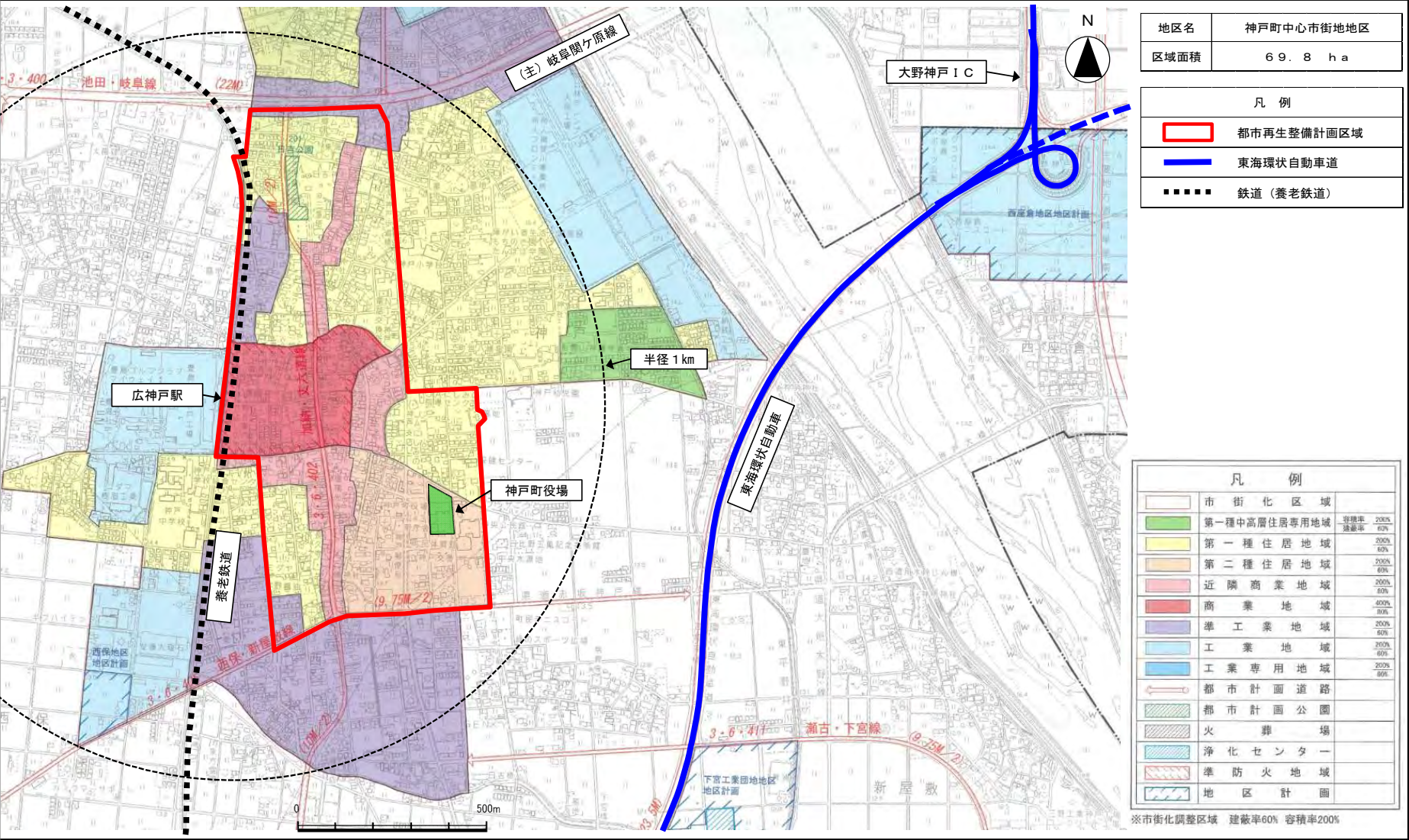
(金額の単位は百万円)

...A

...B

[illegible]

神戸町中心市街地地区(岐阜県神戸町)	面積	69.8	ha	区域	神戸町大字神戸字大円坊の一部と神戸町大字神戸字野部の一部
--------------------	----	------	----	----	------------------------------



神戸町中心市街地地区(岐阜県神戸町) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業(防災・安全交付金))

目標	大目標：公共施設の再整備を契機とした賑わい溢れる交流拠点の形成と活気に満ちあふれた魅力ある市街地の実現 目標1：歴史的資源の活用及び住民活動拠点の創出による住民と行政の共生のまちづくりの推進 目標2：大規模災害にも対応できる防災機能を備えた安心安全なまちづくりの推進	代表的な指標	地域交流センター化による活用実績の評価	日/年	66日/年	R4年度	→	75日/年	R10年度
			地域資源の再整備による実績の評価	人/年	341人/年	R4年度	→	500人/年	R10年度
			備蓄倉庫整備による非常食及び資機材の備蓄	日分	1日分	R4年度	→	3日分	R10年度
			0	0	0	0	→	0	0
			0	0	0	0	→	0	0

